

原子力産業新聞

第336号

昭和40年11月1日

毎月3回(5日、15日、25日)発行

購読料 1部12円(送料共) 1年分前金4000円

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業会議

東京都港区新橋1丁目1番13号(東電旧館内)

電話(591)6121(代)

振替東京5895番

東京で原子力開発十周年記念講演

次の十年へ再出発を

有沢氏 基本法の精神に戻ろう

原子力開発十周年の記念行事は十月二十六日の「原子力の日」を中心に全国各地で展開された。まず東京では、芝の東京プリンスホテルで、二十七日「記念特別講演会」を、原子力基本法に即した開発方針が欠けていたと批判し、甘んじて受けるが、これからは「総合発表会」を開いたが、連日満員の盛況で、開発にスタートした十年前の回顧談が語られる中にも、次の十年への方向を探ろうと大きな示唆を与えた。

これに対して地方では、大阪の「このほかNHK、十二チャンネル記念講演と映画の会、放射線利用、日本原電放送などによる広範な展示会と放射線照射食品の試食試飲活動も行われ、また昨年秋以来、水戸の「原子力音頭」発表、関係機関の協力で編集の進められ、会をはじめ、札幌、名古屋、福岡、福島の各地でそれぞれ「原子力の日」当日に刊行された。

【関連記事五・六面にも掲載】

自主的開発へ 有沢原子力委員の講演要旨

二十六日午後東京プリンスホテルで開かれた「原子力開発十周年記念特別講演会」では、上原原子力委員長、中曾根衆議院議員、



記念特別講演会であいさつする上原原子力委員長

日本は戦後の結果、原子力の研究が適合国から禁ぜられていた。やが一九五〇年になって、米国のAECから理研の仁科君に対し、少量のアイソトープが贈られたことに端を発して、その翌年に日本放射線同位体素協会が発足し、それ以来アイソトープの利用が漸次拡まって来た。現在年間約二億円のアイソトープが輸入され、各方面で積極的に利用されつつある。日本学術会議では、その中の論議の結果、一九五四年にいわゆる「原子力三原則」というものを発表したが、これは主として理研関係者の主唱によるもので、日本でも原子力の研究はすべきだが、一切の情報を完全に公開すること、民主的運営によって研究者の自由を尊重し、十分な協力のもとに行なうこと、日本国民の自主的運営によって進めること、というものである。これは現在まで生きてい

あれから三十年

の意見が一九五三年にまとまると、私にその面倒をみてほしい、との申し入れがあった。ところが私は当時すでに東芝の専務をもち

本命は原子力発電

記録に載らなかった私の主張

日本原子力社長 瀬藤象二

立場中立的地位の人に依頼することが適当と判断して、いろいろ交渉の結果、その会長に安川第五



瀬藤象二氏

一九五五年の二年は、日本が政府が原子力委員会を設立させ、科学技術庁の中に原子力局が設けられ、東京大学の原子核研究所も発足して、それ以前に素粒子学として発達していた原子物理学の実験的研究が始められたなどのことで記念すべき時であった。しかし、日本は米、英、ソなど

一九五六年に原子力委員会に参事会が設けられ、私もその一員として意見を述べた機会を得たので、その初めの会合のころに、私は他のエネルギー源と併せて原子力エネルギーの果たすべき任務を検討すべし、と主張したのである。当時現在のようにならざるを得ない状況に陥っていたので、今はこの私の意見は記録に残っていないだろうと思ふが、その当時の原子力委員長も委員も、このような主張には同調しなかった。

その後、一九六三年に連座省の総合エネルギー関係の調査会で、私の主張と同趣旨のことを明らかに努めるべきものと思ふ。

と異なる、原子力兵器はとりあげないことになっている。それ故にエネルギー源としての原子力を利用の発展のために最も有効に利用すべきである。しかも、これらの国からみれば、非常に遅れに始まっている。その面からの開発を積極的に進めなければならない。互に責任をおしつけ合うことは、いわゆる先進国との間の格差が、いまよりもさらに広がることになるであろう。

現在日本で原子力発電を中心とする設備工業の自立を図るためには、国、電力業界、製造業界が互に協力して、それぞれの分担を定めて、強力に共同目的の推進を図らなければならない。互に責任をおしつけ合うことは、いわゆる先進国との間の格差が、いまよりもさらに広がることになるであろう。

一九五六年に一度、私は欧米を視察した。その結果考えたことは日本は重工業においてすでに相当の進歩を遂げている。いま原子力一特に原子力発電を事業化する場合には、既存の工業の基礎の上に立て、関連産業の連合体を構成することによって、その目的を達しようである。イギリスのコンソルチウムがその前例と考へるべきであらう、ということであつた。この考え方に同調する向きが多く、次に実現したのがいわゆる原子力産業グループである。

一九五六年に一度、私は欧米を視察した。その結果考えたことは日本は重工業においてすでに相当の進歩を遂げている。いま原子力一特に原子力発電を事業化する場合には、既存の工業の基礎の上に立て、関連産業の連合体を構成することによって、その目的を達しようである。イギリスのコンソルチウムがその前例と考へるべきであらう、ということであつた。この考え方に同調する向きが多く、次に実現したのがいわゆる原子力産業グループである。

Toshiba
あらゆる分野で活躍できる
東芝
100チャンネルパルス波高分析器

東京芝浦電気株式会社
お問い合わせは 計測事業部へ
東京都千代田区千代田1-1
TEL 501-5411 (代)

英国 **RCC** の ラジオアイソトープ
americium-241
ALPHA・GAMMA・NEUTRON SOURCES

・御希望の仕様に特別調製も致します
・カタログ並 Technical Bulletin送付致します

THE RADIOCHEMICAL CENTRE
エ・ア・ブラウン・マクファレン株式会社
東京都中央区銀座2の3米井ビル 電話(561)5141-5

毎週定期的入荷!
RCC の ラジオアイソトープ
americium-241
ALPHA・GAMMA・NEUTRON SOURCES

・御希望の仕様に特別調製も致します
・カタログ並 Technical Bulletin送付致します

THE RADIOCHEMICAL CENTRE
エ・ア・ブラウン・マクファレン株式会社
東京都中央区銀座2の3米井ビル 電話(561)5141-5

原子力コード

整備の重要性

科学技術計算を行なうための電子計算機は最近に至り、処理能力が著しく向上して...

この出たことは、以上のような原子力界の情勢にいち早く対処したものと...

原子力の再処理工場詳細設計発注へ

仏サンゴバンに決る

設計費は13億円弱 予算折衝は依然難航

原子燃料公社は、十月二十一日、使用済み燃料再処理工場の詳細設計は、フランスのサンゴバン・テクニク・ヌーベル(SANCOBAN)社に依頼する...

この再処理施設は、ききに原燃したもので、この方にきめたのだとフランスのサンゴバン社とイギリスのニュークリア・ケミカル・プラント(NCP)社で提出した...

この再処理施設は、一日〇・七の処理能力をもち、昭和四十六年中ごろには運転開始の段取りで...

この決定について原燃では、サンゴバン社とNCP社とも、ともに再処理場の設計建設には豊富な経験をもっている...

これに引合算予算措置に対する考え方が、依然原子力委員会側と大蔵省側との間で、歩み寄りをみせていないことである...

PUも法対象へ包含

損害賠償法施行令を改正

政府は十月二十六日の閣議で、「原子力損害の賠償に関する法律施行令」の一部を改正する政令を決定...

この改正は、原子力損害賠償責任の範囲を拡大し、原子力損害賠償責任の賠償対象となるものを加工したり使用したりする原子力事業者は、原子力賠償措置を講じなければならぬ...

国産炉採用に備え

原子力船 技術小委員会を設置

原子力委員会の原子力船懇談会は、十月十九日午後国立教育会館で第二回会合を開き、同懇談会に技術小委員会を設置することに...

兵庫県浜坂町で新ウラン鉱床を発見

原子燃料公社

原子燃料公社倉庫出張所は、このほど東京本社に業務報告を提出、山陰地区の兵庫県で人形峠型のウラン鉱床が発見されたことを...

動力炉開発調査団が出発

動力炉開発の基本方針策定後、調査団の出発は、九月二十一日、川崎市のあそを受け、九月二十一日、川崎市のあそを受け、九月二十一日、川崎市のあそを受け...



茨城県東海村村長に会いかけた

根本時之介

川崎市のあそを受け、九月二十一日、川崎市のあそを受け、九月二十一日、川崎市のあそを受け、九月二十一日、川崎市のあそを受け...



茨城県東海村村長に会いかけた

旬間メモ

原子力委員会 十月十四日 核燃料の民有化に関する事務当局の説明を聞いた。...

米AEC駐日代表

米原子力委員会駐日代表P・A・モリス氏は、このほど、二年の任期を終え、十一月下旬帰国することになった。...

米へ派遣のブルト

原子力局は、米國に派遣するブルトニウムリサイクル関係の専門技術者を募集している。...

原電十五億を増資

日本原子力発電(株)は十月十六日日本本社で取締役会を開き、敦賀発電所建設工事資金の一部にあてるため、十五億円を増資することに決定した。...

米へ派遣のブルト

原子力局は、米國に派遣するブルトニウムリサイクル関係の専門技術者を募集している。...

旬間メモ

原子力委員会 十月十四日 核燃料の民有化に関する事務当局の説明を聞いた。...

新刊書御案内 工業分析法百科辞典 Encyclopedia of Industrial Methods of Analysis Ed. by F. D. Snell & C. L. Hilton 全15巻(予定)...

協和醗酵 本 社 東京都千代田区大手町1丁目4番地(大手町ビル) 電話 東京 201局 大代表 7211番

英、第三次原子力発電計画を拡大

六年間で八百万KW 動力省燃料政策白書で発表

イギリス動力省は九月二十一日「燃料政策白書」を発表したが、その中で、昨年政府が発表した第二次原子力発電計画を五百万KWから八百万KWに拡大することを明らかにした。これには、タンジネスB発電所（すでに着工している）の入れ代り改良ガス冷却炉（AGR）が勝利を得たことが刺激となっており、エネルギー部副大臣が最近動力省に提出した報告が大きく反映しているものとみられている。

昨年四月動力省は、第二次原子力発電計画（一九七〇―七五年の六年間）として総計五百万KWの原子力発電所を建設することを明らかにし、本年五月その第一号発電所となるタンジネスB発電所の型式として、英原子力公社（AEA）の開発したAGRを採用することに決めた。

この際第二次計画の発電規模拡大がうけられ、労働政府も、一九七〇年までに国民所得を二五%引き上げることが目標とした新

建設スケジュールでは一九七〇年が運用目標であり、予備設計によれば、原子力発電所は基本的にステンレス鋼製のフルトニウムウラン酸化物であるが、カーバイド燃料も相当量含まれることが考慮されている。

炉心は三つの濃縮燃料領域をもつたもので、最初は炉のナトリウム冷却材出口温度は最高限五五〇二十五度、最終的には六百度に高められる。また水ナトリウム熱交換器が使われる。

来年からAEAはカーペンター

濃縮工場の改造考慮

再処理 AEA 第二次計画に対処して

アメリカの原子力産業会議（AIE）の機関誌ニュークリア・インダストリーは、タンジネスB以降のイギリスにおける原子力発電計画の動向について、原子力公社（AEA）、中央発電局（CEGB）、南スコットランド電力局（SSEB）に情報を求めた。その結果、CEGB、SSEB両局は、力庁からマグノックス発電所についての報告があったほか、SSEBでは、CEGBのタンジネスBに次ぐ二番目のAGR型発電所建設の用意があること、AEAから高速炉建設、ガス拡散プラントの改造による濃縮ウラン燃料の生産体制の確立、ヨーロッパ諸国への再処理サービスを積極的に実施する意向であることを明らかにしている。

SSEBが考えているAGR型発電所は電出力百二十万KW

第一回海水脱塩会議終る

各国から千五百名の専門家が参加

第一回海水脱塩に関する国際会議は十月三日から九日までアメリカのワシントンで開催され、約六千五百名が参加した。開会式では科学者が参加した。開会式では科学者が参加した。開会式では科学者が参加した。

ひまきえあは庭も、約千種類の小株まで入れ

今日このごろ

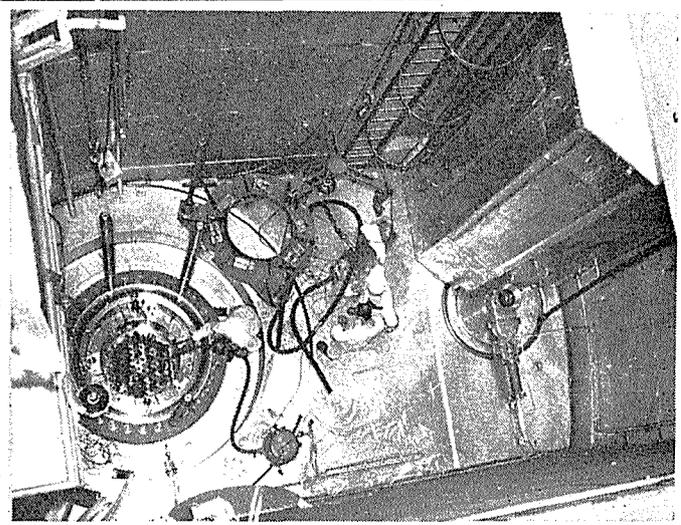
鉢物は面倒な手を出さな

米原産第12回フォーラム大会を開催

米原子力産業会議の主催する第

海外短信

仏、サンロランテ



（写真）は、ベルギー、モルの原子力センターにあるBWR-3に新しいバルケイン炉心を挿入しているところ。これは、英AEAとベルギーのバルケイン・シンジケートが船用炉および小型動力炉開発のために進めているもので、スペクトル・ソフト方式を採用したコンパクトな炉心設計になっており、この数ヶ月以内に運転が始まる予定。

（写真）は、ベルギー、モルの原子力センターにあるBWR-3に新しいバルケイン炉心を挿入しているところ。これは、英AEAとベルギーのバルケイン・シンジケートが船用炉および小型動力炉開発のために進めているもので、スペクトル・ソフト方式を採用したコンパクトな炉心設計になっており、この数ヶ月以内に運転が始まる予定。

原子力センターにあるBWR-3に新しいバルケイン炉心を挿入しているところ。これは、英AEAとベルギーのバルケイン・シンジケートが船用炉および小型動力炉開発のために進めているもので、スペクトル・ソフト方式を採用したコンパクトな炉心設計になっており、この数ヶ月以内に運転が始まる予定。

原子力センターにあるBWR-3に新しいバルケイン炉心を挿入しているところ。これは、英AEAとベルギーのバルケイン・シンジケートが船用炉および小型動力炉開発のために進めているもので、スペクトル・ソフト方式を採用したコンパクトな炉心設計になっており、この数ヶ月以内に運転が始まる予定。

原子力センターにあるBWR-3に新しいバルケイン炉心を挿入しているところ。これは、英AEAとベルギーのバルケイン・シンジケートが船用炉および小型動力炉開発のために進めているもので、スペクトル・ソフト方式を採用したコンパクトな炉心設計になっており、この数ヶ月以内に運転が始まる予定。

原子力センターにあるBWR-3に新しいバルケイン炉心を挿入しているところ。これは、英AEAとベルギーのバルケイン・シンジケートが船用炉および小型動力炉開発のために進めているもので、スペクトル・ソフト方式を採用したコンパクトな炉心設計になっており、この数ヶ月以内に運転が始まる予定。

年間に毎年五百万KWの発電所を建設）のうちの一つである。一方、この発電所に先だって建設されているサン・ロラン・デ・イ（EDF-4）は一九六八年に運転予定となっている。

カナダ、百万KW 計画の建設に着手

この計画の費用は二億六千六百万（九百五十七億六千万円）で、オンタリオ水力電気委員会、連邦政府、州政府が共同で負担する。同プラントの発電コストは、来年度この運用予定のダグラスポイント（KWH当り五・七ミル）よりも一・九四ミル安い三・八六ミルくらいになると見られてい

南ア連邦、ウランの販売高年々減少

米原産第12回フォーラム大会を開催

海外短信

- 原子力プラント・原子力設備
 - ・PWR型原子力発電所
 - ・PWR型船舶用原子炉
 - ・訓練用原子炉
 - ・研究用原子炉
- 原子炉実験装置
 - ・燃料取替装置
 - ・放射線監視装置
 - ・ホットラボ
 - ・その他
- 原子炉附属設備
 - ・原子炉附属研究用装置
 - ・原子炉制御計装
 - ・原子炉附属装置
 - ・使用済燃料輸送装置
 - ・放射性廃棄物処理装置
 - ・燃料格納容器
- 原子炉実験装置
 - ・臨界実験装置
 - ・臨界未満実験装置
 - ・原子炉シュミレータ
 - ・その他



- 三菱重工業株式会社
- 三菱電機株式会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱金属鉱業株式会社
- 三菱化工機株式会社
- 三菱原子力工業株式会社

核燃料政策の拡充へ

固まった各社の開発計画

アメリカ七カ国原子力委員会(JCAEC)の聴聞会は、八月十一、十二日の二日間開催され、これに出席した民間原子力会社の代表から、原子力産業界の諸問題とその将来について証言が行なわれた。...

同聴聞会で証言を行なった主要な会社と証人は次の通りである。(概要を紹介)
ゼネラル・エレクトリック(GE)社、...

核過熱炉と高速度炉を開発中
GE社、ホワイト氏は原子力発電の伸びについて一九七〇年までに二百六十七万KW、...

将来に備え独自で研究開発
AC社、WH社は今日までGE社と共同で原子力発電の技術開発を進めてきたが、...

超臨界加圧水型炉を有望視
WH社は今日までGE社と共同で原子力発電の技術開発を進めてきたが、...

孤軍奮闘で原子力船に取組
B&W社が最近まで、原子力船の建造に取組んできたが、...

海外の運搬
インケム社、化学プラントの運搬へ
インケム社、化学プラントの運搬へ...

JCAECの聴聞会から

四百万KWになるという予想を行なった。
プルトリウムWH社、商業用原子炉で生産されるプルトリウムは金銀にして、...

原子力船の商用化は、今日利便が可能な技術は、今日利便が可能な技術は、...

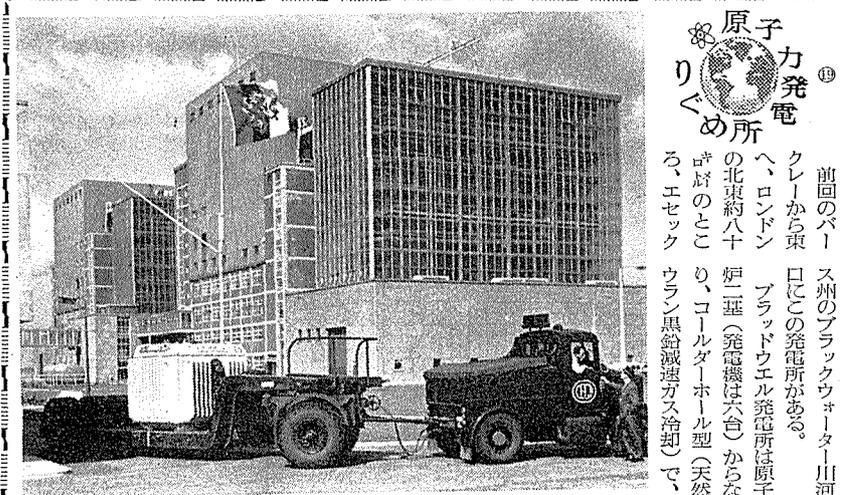
この可能性を検討してみよう。
三、AECの高速度炉開発契約者をもつて獲得するため手をつける。...

協同でHWOのCRの開発へ
AI社、CE社、R社、W社、HWO社、...

高速炉の研究開発を検討中
E社、H社、W社、...

海外の運搬
インケム社、化学プラントの運搬へ...

いよいよ高速増殖炉の研究に入る
スペイン、...



原子力発電所
前のパース州のブラックウォーター川河口にこの発電所がある。...

計画にはマドリドの郊外、ユンタのユアン研究所にあるコラルIと呼ばれるゼロ出力ユニットの建設が含まれている。...

海外の運搬
インケム社、化学プラントの運搬へ
インケム社、化学プラントの運搬へ...

有沢原子力委員の呼びかけに応えよう

わが国が原子力基本法を制定し原子力平和利用の研究開発を本格的に開始してから、もはや十年になる。そのことを記念する各種の行事が、「原子力の日」(十月二十六日)を中心に全国各地で行なわれ、原子力開発十年史も関係機関の協力で編さんされたが、この十年間、日本の原子力を担ってきた人々には非常な感慨であろう。幾多の悪条件をのりこえてきた風雲十年の努力に敬意を表したい。

しかし、世界の原子力開発は休みな前進しており、原子力発電の実用化がすでに現実のものとなった段階において、われわれの努力がどれだけの実を結んできたかを顧み、試行錯誤の多かったわが

国の開発の進め方について、この機会に根本から考え直すことが必要であろう。このような反省と

わが国は十年かかって、ようやく燃料政策が陽の目を見ようとしている。政策が決定するまでは、なほいろいろと曲折があるが、論議を尽くして決定した以上は、原子力界をあげて原子力委員会をバックアップする協力の態勢を望みたい。大切なのは、核燃料政策が単に原子力の内部の要因だけでなく、もっと広い、全社会的、全エネルギー的な観点から見たらなければならない、ということである。

▽想定事故時の気象 安全解析のために想定した事故による影響の評価は、おそろしくこれれり悪いことにはならないという考え方を採用して、当分差支えないと考えている。

▽平常運転時の気象 平常運転時の気象は、一般に周辺監視区域外の年間積算線量について検討するものである。これに用いる気象資料は次の諸点を考慮し、現地に關する一カ年以上の期間に及ぶ観測資料をもとにすべきである。

東大内田秀雄(炉工学) 炉工学部会長 放医研伊沢正実(保健物理) 東大大山彰(炉工学) 原研川崎正之(燃料) 気象協小平吉男(気象) 電中研後藤清太郎(機械) 阪大吹田徳雄(炉物) 東大東田正三(炉工学) 建研後藤一郎(地震) 建研久田俊彦(建築) 原研弘田実弥(炉物) 原研野直文(保健物理) 東大三島良(炉材料)

原子力部会が初会合

通産省総合エネルギー部会調査会

一月目標に検討開始

計画・国産化の二小委を設置

通産省の総合エネルギー調査会原子力部会会長、松根宗一郎本原子力産業会議副会長は、十一月十一日午後、東京大手町の日本長期信用銀行講堂で第一回会合を開いた。通産省の所管とすることになった。この会合は、原子力部会の調査経過、原子力産業の現状と問題点、旧原子力産業部会、旧総合エネルギー部会、需給小委員会原子力発電供給分科会の状況、などの報告があり、原子力部会の審議の進め方を協議した。この結果、計画と国産化推進の二小委員会を設け、明年二月までに、部会としてのとりまとめを行なうことになった。【写真はあいさつする松根部会長】

この決定された同部会の審議の進め方は大よそ次の通りである。基本方針 この部会は、総合エネルギー政策の基調に沿った長期的なエネルギー供給構造における原子力の位置づけの検討と、これに即応する政策的な方向について審議するが、原子力委員会の基本方針を尊重し、かつ総合部会や需給部会と密接に連絡をとる。

計画小委員会の審議事項としては、①原子力発電長期計画の検討、すなわち昭和三十五年十二月に産業合理化審議会原子力産業部会で決定した原子力発電長期見通しの再検討を行なうが、その際は重油火力との比較(発電コスト、燃料備蓄、所要外貨、所要資金など)、電力系統運営上の技術的経済的な

の胸にひびくものがあるが、考えてみれば、わが国の原子力開発は十年前に、自主、民主、公開の三原則を根本精神として、歩み出したはずであった。にもかかわらず、改訂が必要になったというのはい、何を意味するであろうか。それは今日まで、わが国が基本的な開発の路線を決めずに、世界各國の開発の進展を見ながら、いわば模倣見の態度で推移してきたこと、関係がないであろうか。

▽平常運転時の気象 平常運転時の気象は、一般に周辺監視区域外の年間積算線量について検討するものである。これに用いる気象資料は次の諸点を考慮し、現地に關する一カ年以上の期間に及ぶ観測資料をもとにすべきである。

東大内田秀雄(炉工学) 炉工学部会長 放医研伊沢正実(保健物理) 東大大山彰(炉工学) 原研川崎正之(燃料) 気象協小平吉男(気象) 電中研後藤清太郎(機械) 阪大吹田徳雄(炉物) 東大東田正三(炉工学) 建研後藤一郎(地震) 建研久田俊彦(建築) 原研弘田実弥(炉物) 原研野直文(保健物理) 東大三島良(炉材料)

安全審査用気象を報告書にとりまとめ

原子力委員会の原子力安全審査報告書「原子力安全審査のための気象データ」としてとりまとめ、このほど上原原子力委員長に提出した。原子力委員会はこれを審議し

た結果、原子力安全審査の参考にするため、山田同審査会長あてに送付することにした。これで原子力安全審査専門部会は任務を終了したので近く解散する。

この「気象データ」は新しく研究したものでなく、今後の参考とするため、大型原子炉の安全解析で取扱った経験から、気象に関する事項をとりまとめたもので、想定事故時の気象と平常運転時

の設置をきめた。この部会は東大審査会(部会長山田太郎氏)と東大教授内田秀雄氏を部会長とする十三名の構成で、日本原子力発電(株)が設置地点に建設する号

の設置をきめた。この部会は東大審査会(部会長山田太郎氏)と東大教授内田秀雄氏を部会長とする十三名の構成で、日本原子力発電(株)が設置地点に建設する号

敦賀炉の審査開始

原子力委員会の原子力安全審査専門部会(部会長山田太郎氏)は、十一月二日同審査会に第二十二部会

の設置をきめた。この部会は東大審査会(部会長山田太郎氏)と東大教授内田秀雄氏を部会長とする十三名の構成で、日本原子力発電(株)が設置地点に建設する号

の設置をきめた。この部会は東大審査会(部会長山田太郎氏)と東大教授内田秀雄氏を部会長とする十三名の構成で、日本原子力発電(株)が設置地点に建設する号

の設置をきめた。この部会は東大審査会(部会長山田太郎氏)と東大教授内田秀雄氏を部会長とする十三名の構成で、日本原子力発電(株)が設置地点に建設する号

の設置をきめた。この部会は東大審査会(部会長山田太郎氏)と東大教授内田秀雄氏を部会長とする十三名の構成で、日本原子力発電(株)が設置地点に建設する号

千谷利三

放射線化学会の会長になった

旬問メモ

原子力委員会 十月二十八日 科学技術基本法案について

内閣府令

第十五回閣議決定 放射線防護科学委員会

旬問メモ

原子力委員会 十月二十八日 科学技術基本法案について



富士重工業株式会社

取締役社長 横田 信 夫

東京都千代田区丸の内2-18
電話 (212) 5311 (大代表)



三井金属鉱業

社長 高林 敏 巳

本店 東京都中央区日本橋町2の1/1

地金部門	亜鉛・鉛・銅及二次品化成品
加工部門	伸銅・ダイカスト・研削材 人工軽量砂利(メサライト) 軽量骨材(三井パライト)
建材部門	吹付塗装材(ケニテックス) 防錆塗料(ジンキー) 土壌改良剤(ネニサン)

インディアンポイント第二を計画

大型五百万kW WPPWRで

W H社が詳細設計受ける

アメリカのコンソリデイトド・エンジニアリング社(ニューヨーク州)は世界最大の五百万kW原子力発電所の建設を進めるため、ウエスチングハウス(WH)社に対し、建設に必要な準備作業を始めるよう依頼した。この発電所はインディアン・ポイントの敷地に建設される予定のもので、同社のインディアン・ポイント発電所に次ぐ第二プラントとなるもの。この計画の最終的決定はまだされていないが、コン・エジソン社としては、一九六九年までに運転を開始する大型発電所の建設を考えており、今回のWH社への依頼は、時間の短縮の意味から正式の最終決定に先だって準備作業を進めるためのものである。建設はほぼ確実とみられている。

この契約のもとに、P S C Cは敷地、プラントの所有・建設のための費用として、四千五百八十万を支出する。G A社は、研究開発、設計、建設作業、燃料の成型加工および運搬後八年間KWHに当り一・六ミルの固定価格で燃料の供給とサービスを行なう。A E Cは、設計作業、G A社の研究開発、初級燃料の成型加工、原子炉の特別な構造部分の製造について援助することになっている。A E Cはすでにこの費用として四千八十六万三千の予算を計上している。このほかA E Cは、G A社に対して六百四十四万三千に値する燃料を無料で提供することになる。

このプラントは、A E Cの改良転換計画の一つで、有効な燃料利用と経済的な電力生産を目的として設計されている。

原子力発電コストの転換期

英AEA、第十一年報で報告

イギリス原子力公社(AEA)は、原子炉開発計画について概観した第十一年報を発表したが、その中で原子力発電コストは転換期に達したと述べている。また一九六四年四月一日から一九六五年三月三十一日までの期間、現在運転中あるいは建設中のガス冷却炉型原子力発電所は、マグノックス型で設計されている。今後A G R (A G R)を開発し、今後A G Rに基づいて原子力発電所は、従来の発電所あるいは他の炉型方式による原子力発電所よりは、発電コストの安い基礎負荷発電を行なうであろう。六四一六五年度の進歩は、技術的な改良に基づく経済性の確立であったと述べ、今後発電コストの低減については大いに期待できるとが示された。とくにA G Rについては原子炉のサイズを大きくしたり、技術改良によって大いに競争でき、約二〇%まで発電コストを下げることが期待できる。

さらにA E Aは、燃料をもちと効果的に使用できる方式を開発することに注意が払われねばならぬ、と述べている。これには、船の推進力としても、また極地に電気を供給できるような小型の原子炉方式の開発も含まれている。

これは、コーチ座五十年におよぶといふ名伯業アイバ・コーン科学長期計画五カ年計画を政府に報告したが、たかがスポーツでさえ、基礎技術の優劣が勝負を支配するのだ。科学技術振興が叫ばれて久しいが、このへんに、本腰を入れねばならない時機である。(河合 武)

高温ガス炉開発へ

G A P C S S 契約調印

米原子力委員会(AEC)は、十一月一日、政府・民間の共同原子力発電所建設計画の契約を行なった。P S C Cとゼネラル・アトミクス社との間で、熱交換器とこの百万kW発電所用タービンはWH社の南ファイナルポイントの工場で、それぞれ製造される。またWH社は、インディアン・ポイント第二発電所の建設・管理・サービスを行なう会社としてエナティテッド・エンジニアーズ&コンストラクターズ・オブ・フィラデルフィア(U E)とすでに契約を行なっており、同社は大型PWRの下準備を進めている。

使用済燃料輸送で貨物船チャーター 英AEA

イギリス原子力公社(AEA)は、このほどイタリアから使用済み燃料を輸送するため、九〇〇トンの貨物船をチャーターした。この船は五十トンのフラスコ(使用済み燃料を入れる容器)を一度に六個運ぶことができる。昨年、イタリアとイギリスは、ラチナ発電所(電出力二千七万kW)の使用済み燃料再処理で契約を結んでおり、A E Aのウインズケール再処理プラントで再処理することになっている。この契約は五百万ポンドのほかに、動力炉の再処理として大がかりなもの。輸送は、今年の十一月から始まる。来年の七月までに六往復することになっている。

海外短信

オットー・ハーン号の原子炉容器完成

西ドイツの原子力商船オットー・ハーン号の建設に当たっているドイツB & W社とインタラトム社によれば、同船用の原子炉安全容器がこのほどグループ・グルーパによって完成、近くライン河からロッテルダムを経てキールまで運ばれることになった。この容器は重量約二百トン、高さ十四メートル、

近づくにつけかかる。 SELNI、二十万五千kWを記録

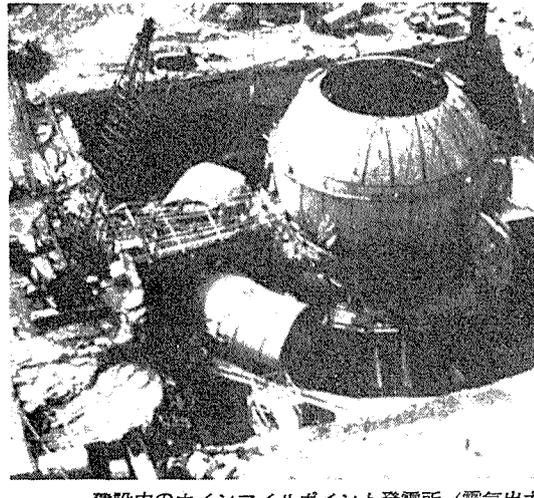
イタリアの國營電力庁(ENEL)によれば、SELNI原子力発電所(電出力二千七万kW、PWR)は去る十月二十六日、これまでの最高出力二千五万五千Wに達したと発表した。またENELの所有している三つの発電所がこれまで発電した電力は総計五十五億八千六百六十四万四四百万kW、SELNI十七億三千万

一方スウェーデン科学アカデミーの年報によれば、スウェーデンの電力グループと市営電力が建設する予定のシンパープ発電所(電出力四千万kW)に脱塩装置をつけることが考えられているとほめかしている。この発電所は現在設計段階にあり、二重目的炉に運転していると述べている。

建設許可を申請

フランス、G I 3 は好成績で運転中

ヨーロッパへの近道……北極空路 ヨーロッパの玄関……コペンハーゲン SAS スカンジナビア航空 東京・大阪・名古屋・札幌・福岡



建設中のナインマイルポイント発電所(電出力50万kW)

原産が導入する計算機が羽田へ到着

本格稼働は来年二月 日本橋・大阪合同ビルに設置

日本原子力産業会議が米國から導入する大型電子計算機「米國コントロール・データ社のCDC三三〇〇システム」が、米國ミネアポリス市から特別チャーター機で、十一月二十一日午後十時五十分、羽田へ到着した。これは、増大する傾向にある原子力産業界の計算需要に對処するため、大型計算機の共同利用に供する第一の一環として導入されるもので、通関手続の済んだ後、東京日本橋の大阪合同ビル二階の原産計算機室に設置される。コントロール・データ社から四名の技師が同機で来日して、直ちに整備に着手し、明年二月には本格的に稼働を開始する予定である。【写真は羽田に到着した計算機】



この導入されたCDC三三〇〇システムは、中心となる電子計算機としてCDC三三〇〇型(記憶容量九万八千語)、衛星計算機としてCDC三三〇〇型(記憶容量二万六千語)および多数の周辺装置からなるもので、大まかに、計算速度と、世界最高レベルのもの。わが國ではもちろんのこと、東洋一のスケールをもつものである。運ばれてきたものは、こん包総数百六十二、総重量三十五トンに達するが、このような巨大な計算機である。②主計算機の記憶容量は必

要に応じて最大二十六万二千語まで拡張できる。③メモリ・サイクル・タイムは一・五マイクロ秒、アクセス・タイムは〇・七マイクロ秒という高速データ処理能力をもつ。④豊富な種類の多数の周辺機器との連絡が可能で、入出力データの多重処理が容易。⑤原子力コードを初めとするソフトウェアが完備しており、IBM系コードとの互換性がある、などがあげられており活用が期待されている。

第十一回計測工業展開かる R-1機器の出品も 東京時海で計測工業展が開かれる。放射線用の機器も多数展示される。この展示会は、日本電気計測器工業会が、東京と大阪で隔年ごとに開催しているもので、本年で十一回をむかえる。今回は沖電気、日立、東芝、富

高周波の線形陽子加速器 三菱原子力と三菱電機が共同開発 三菱原子力工業と三菱電機は、共同で、このほど出力五百万電子ボルト、ビーム電流十マイクロアンペアの線形陽子加速器を開発した。これは高周波加速器であるために、高い電圧を必要としない。加速できる電子のエネルギーは、従来の電子加速器よりも十倍以上である。この加速器は、原子力研究所で開発したものである。この種の加速器は、ビームの量が非常に多いので、欧米でも巨大加速器への入射用として高く評価されているという。

微小変態連続測定装置 名古屋工業技術試験所で完成 名古屋工業技術試験所(所長長取一男氏)では、このほど放射線照射中の被照射物の変態の様子を観察できる「微小変態連続測定装置」を開発した。この装置の開発は、名古屋工業技術試験所(所長長取一男氏)を中心として、放射線照射中の被照射物の変態の様子を観察できる「微小変態連続測定装置」を開発した。この装置の開発は、名古屋工業技術試験所(所長長取一男氏)を中心として、放射線照射中の被照射物の変態の様子を観察できる「微小変態連続測定装置」を開発した。

基礎課程と軟べー タコース生を募集 原研R-1研究所 日本原子力研究所のラジオアイソトープ研究所では、基礎課程とソフトプロ研究所は、基礎課程と

第二十六回国際工業化学会議を開催 明年九月ブラッセルで 国際工業化学会議常設委員会主催による第三十六回国際会議が、明年九月十日より二十一日まで、ベルギーの首都ブラッセルで開催される予定である。

降下量は漸減傾向 食品中のSrは横ばい 放射線対策本部が発表 放射線対策本部はこのほど全国十三カ所の気象観測所で測定した一月から七月までの雨水や、空中のチリなどから得られた環境の全放射能、食品の中に含まれているストロンチウム90の量などの調査結果を発表した。これによると、全放射能の降下量は次第に減少しているが、食品の中に含まれているストロンチウム90は横ばいの傾向を示している。概要次のように述べている。

△雨水の全放射能は、本年五月の中核の核実験後一時的に増加し、五月の月間降下量は一平方メートルあたり最高四百五十六ベキュリー(福岡)に達したが、翌月はほぼ平常の値に戻った。しかしこの値は、放射線対策本部よりきめた緊急事態第一段階の月間降下量(二千五百ベキュリー以上)に比較すると、かなり低い値である。

△ストロンチウム90の東京の月間降下量は冬季には減少したが、三、四月に再びやや増加したが、なお本年一月から四月までの積算値は一平方メートルあたり一九ベキュリーで、昨年同期間の値三六ベキュリーに比較すると約半分程度である。

△牛乳と飲料水の中に含まれるストロンチウム90の全国平均値は、昨年後半以降は横ばいである。日常食からのストロンチウム90の摂取量の全国平均値は、昨年末には夏季と比較してやや増加を示している。

△ストロンチウム90の東京の月間降下量は冬季には減少したが、三、四月に再びやや増加したが、なお本年一月から四月までの積算値は一平方メートルあたり一九ベキュリーで、昨年同期間の値三六ベキュリーに比較すると約半分程度である。

第二回原子炉建設特別研究会を開催 十二月九、十日・東海で 原産委員の建設関係者のため、さきに「原子炉建設に関する特別研究会」を開催して好評を受けた東海原子力建設委員会(会長安川第五郎氏)は、十月九、十日その第二回を開く。申し込み締切りは十二月二日、原産事務局内東海原子力懇談会で受け付ける。参加費は一泊二日の宿泊費、見学バス代、聴講費などを合せて二名八千円。定員三十名。

シグマ・センター 十二月八日都市センターで 日本原子力産業会議と日本原子力学会は共催で、十二月八日午後二時から東京千代田区平河町の日本都市センター別館でシグマ・センターの講演会を開催する。

演題は「原子炉物理の最近の進歩」で、とくにシグマ・センターについて、②軽水炉の炉物理の現状、③Settle Bed 高速増殖炉などについて講演する予定。なおシグマ・センターは、米國ブルックヘブン国立研究所の原子炉理論グループのリタ

軟べー タコース 期間は昭和四十一年一月二十四日から一月五日まで、募集人員は十五名、受講料は七千円。申し込み締切りは明年一月十日。

軟べー タコース 期間は昭和四十一年一月二十四日から一月五日まで、募集人員は十五名、受講料は七千円。申し込み締切りは明年一月十日。

株式会社 竹中工務店 取締役社長 竹中 録 本店 大阪市東区本町四丁目二七番地 東京支店 東京都千代田区神田錦町一丁目九番地 営業所 札幌・仙台・横浜・静岡・名古屋・富山・京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

トポ印製品 営業品目 石綿製品・テフロン 保温材・耐火板 日本アズベスト 東京都中央区銀座西6丁目3番地1 電話(572)代表0321 0331

